

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【公開番号】特開2008-247166(P2008-247166A)

【公開日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【年通号数】公開・登録公報2008-041

【出願番号】特願2007-90241(P2007-90241)

【国際特許分類】

B 6 2 J	11/00	(2006.01)
B 6 0 R	16/06	(2006.01)
B 6 2 J	17/06	(2006.01)
B 6 2 J	99/00	(2009.01)
B 6 0 R	16/04	(2006.01)
B 6 0 K	8/00	(2006.01)

【F I】

B 6 2 J	11/00	G
B 6 0 R	16/06	A
B 6 2 J	17/06	
B 6 2 J	39/00	H
B 6 2 J	39/00	L
B 6 0 R	16/04	A
B 6 0 K	8/00	

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月29日(2009.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車体の前方にレッグシールドを備え、このレッグシールドにバッテリを配置した自動二輪車のバッテリ配置構造において、

前記バッテリを複数のバッテリで構成し、各バッテリを相互に離間して上下に配置したことを特徴とする自動二輪車のバッテリ配置構造。

【請求項2】

前記複数のバッテリのうちの最上部に位置する上側バッテリを前傾に配置し、最下部に位置する下側バッテリを後傾に配置して、前記複数のバッテリ全体を、車体側面視で上下のバッテリの略中央を車体後方に凸とする仮想屈曲線に沿わせて配置したことを特徴とする請求項1に記載の自動二輪車のバッテリ配置構造。

【請求項3】

前記レッグシールドには、前記複数のバッテリの左右側部に、動力発生機関を冷却するラジエータを配置したことを特徴とする請求項1又は2に記載の自動二輪車のバッテリ配置構造。

【請求項4】

前記自動二輪車は、燃料電池で発生する電力を電源とするモータを駆動する動力発生機関を有し、前記動力発生機関を前記複数のバッテリの後方に配置して、前記複数のバッテリ間を通過した走行風が前記動力発生機関に至る走行風通路を確保したことを特徴とする

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の自動二輪車のバッテリ配置構造。

【請求項 5】

電力を調整する電圧調整器を備え、

前記電力調整器は、車体の略中央に配置され、かつ、側面視で、前記上下に離間して配置される前記バッテリの上下方向間に配置されることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の自動二輪車のバッテリ配置構造。

【請求項 6】

前記左右のラジエータの幅方向間に配置され、前記ラジエータに冷却水を供給するウォータポンプを備え、

前記ウォータポンプは、側面視で、前記上下に離間して配置される前記バッテリの上下方向間に配置されることを特徴とする請求項 3 に記載の自動二輪車のバッテリ配置構造。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この場合において、前記自動二輪車は、燃料電池で発生する電力を電源とするモータを駆動する動力発生機関を有し、前記動力発生機関を前記複数のバッテリの後方に配置して、前記複数のバッテリ間を通過した走行風が前記動力発生機関に至る走行風通路を確保することが好ましい。この構成によれば、走行風により燃料発電機関の冷却効率を上げることが可能になり、また、車体内の換気も促進することができる。

また、電力を調整する電圧調整器を備え、前記電力調整器は、車体の略中央に配置され、かつ、側面視で、前記上下に離間して配置される前記バッテリの上下方向間に配置されるようにしてもよい。また、前記左右のラジエータの幅方向間に配置され、前記ラジエータに冷却水を供給するウォータポンプを備え、前記ウォータポンプは、側面視で、前記上下に離間して配置される前記バッテリの上下方向間に配置されるようにしてもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明では、レッグシールドに配置されるバッテリを、複数のバッテリで構成し、各バッテリを相互に離間して上下に配置したので、バッテリの配置自由度が向上し、バッテリ全体の重心位置を容易に変更することができ、また、バッテリ間に走行風を通過させ易くすることができる。

また、複数のバッテリのうちの最上部に位置する上側バッテリを前傾に配置し、最下部に位置する下側バッテリを後傾に配置して、複数のバッテリ全体を、車体側面視で上下のバッテリの略中央を車体後方に凸とする仮想屈曲線に沿わせて配置したので、バッテリ全体の重心位置を前輪に近づけやすくなる。

また、レッグシールドには、前記複数のバッテリの左右側部に、動力発生機関を冷却するラジエータを配置したので、バッテリおよびラジエータを効率よくレイアウトでき、ラジエータの冷却効率を十分に確保しつつ、レッグシールドの後方へ走行風を流すことができる。

また、自動二輪車は、燃料電池で発生する電力を電源とするモータを駆動する動力発生機関を有し、この動力発生機関を複数のバッテリの後方に配置して、複数のバッテリ間を通過した走行風が動力発生機関に至る走行風通路を確保したので、燃料発電機関の冷却効率を上げることが可能になり、また、車体内の換気も促進することができる。

また、電力を調整する電圧調整器を備え、電力調整器は、車体の略中央に配置され、か

つ、側面視で、上下に離間して配置されるバッテリの上下方向間に配置されるようにすれば、バッテリ間を通過した走行風が電圧調整器の周囲を流れ、電圧調整器を冷却することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

